

2022年3月22日

～プラスチック製カトラリー類を紙・木製に切り替え～

循環型社会の実現に向けた



使い捨てプラスチック削減の取り組みについてのお知らせ

株式会社フジ・リテイリング（本社：愛媛県松山市、代表取締役社長：山口 普^{やまぐち ひろし}）は、2022年4月1日（金）から、店内でお渡しするカトラリー類を紙・木製といった環境配慮型素材へ見直し、さらなる使い捨てプラスチックの削減に取り組みますので、その概要についてお知らせいたします。

フジは「環境調和型企业」を目指し、「脱炭素社会の実現」「循環型社会の実現」「地域との共生」を3つの柱として、環境に関する取り組みや意識啓発を図っています。お客様とともに、マイバッグ・マイバスケット持参によるレジ袋の削減や、店頭資源回収による食品トレイや牛乳パック、ペットボトルなどのリサイクルを推進に取り組んでまいりました。このたび、プラスチックの使用量削減の取り組みの一つとして、4月1日（金）からフジ直営全店で、お弁当などを購入された時にお渡しするカトラリー類（スプーン、フォーク、ストローなど）を、プラスチック製から紙製や木製に切り替え、さらなる使い捨てプラスチックの削減に取り組みます。

この取り組みにより年間約7tの使い捨てプラスチックの削減につながります。今後もフジは、社会的責任を果たし地域に貢献する企業でありつづけるためにESG経営を推進し、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

【変更するカトラリー類（スプーン、フォーク、ストローなど）】

【変更前】プラスチック製	【変更後】木製・紙製
	

※各カトラリーの取扱いは各店舗で異なります。

以上

